

A級真空管モノラルパワーアンプ

TRX-M300

取扱説明書

平成31年3月1日 第1.2版



この度はトライオード製品をお求め頂きまして誠にありがとうございます。
ございます。本機の機能を十分にお楽しみ頂く為にも、
ご使用前に本書を良くお読み頂き、正しくご使用下さい。

本機は一般家庭用オーディオ機器として作られたものです。
一般家庭用以外（たとえば飲食店等でのBGMなど営業用の長時間使用、車両、船舶への
搭載使用、野外での使用など）に使用しないでください。
一般家庭用以外の使用で故障した場合は、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

TRIODE

株式会社 トライオード

〒343-0032 埼玉県越谷市袋山609-3
Tel : 048-940-3852 Fax : 048-940-3853
URL : <http://www.triode.co.jp/> e-mail : service@triode.co.jp

警告

・以下の内容を無視して誤った取扱をすると火災や感電による人身事故の原因となります。

絶対に裏蓋を開けたりしないで下さい。故障や感電の原因となります。特に本機は内部に高電圧を使用するため、内部接触による人体の損傷や火傷などの責任は負いかねます。

万が一、以下の様な異常が生じた場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。そのまま使用すると火災や感電の原因となりますので直ちに弊社へ修理をご依頼下さい。

- ・煙が出たり異臭がする
- ・本機の内部に水(その他の液体)や異物が入った
- ・落としたり、本体を破損した

本機を交流(AC)100V以外の電源で使用しないで下さい。それ以外の電源電圧や船舶等の直流(DC)電源には直接接続しないで下さい。故障や火災、感電の原因となります。

電源コードを傷つけないで下さい。(重い物の下敷きになる/無理にねじ曲げたり引っ張ったりする/加工する/加熱する)電源コードが破損(芯線が露出、断線)すると火災や感電の原因となります。また、電源プラグにホコリがたまらない様にして下さい。プラグとコンセントの間にホコリがたまると火災や感電の原因となります。定期的にプラグをコンセントから抜いてホコリを取り除いて下さい。

以下の内容をお守り下さい。内容に反したご使用をされると火災や感電、火傷の原因となります。

- ・本機の上や周囲に花瓶や水などが入った容器を置かない
- ・本機を改造しない・本機の通風口をふさがない

注意

・以下の内容を無視して誤った取扱をすると感電やその他の事故により怪我や物的損害の原因となります。

必ず付属の真空管カバーをご使用下さい。使用時は真空管が高温になるため直接接触すると火傷の原因となります。特にお子様の手の届かない様にして下さい。

ふらついたり傾いた所などの不安定な場所や、湿気やホコリの多い場所、調理器具や加湿器等の油煙や湯気が当たる場所へに設置しないで下さい。落下による怪我や発煙、発火の原因になります。

電源コードは以下の様な取扱いはしないで下さい。破損による感電や発火の原因になります。

- ・プラグを抜く時にコードを引っ張る
- ・ぬれた手でプラグを抜き差しする
- ・熱器具のそばに近づけて設置する

ヒューズは必ず規定の物をお使い下さい。規定を越える値(アンペア数)を使用すると火災や事故の原因となります。

長期間ご使用にならない時は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて下さい。また移動やお手入れの時は、電源を切り真空管が冷えてから電源プラグをコンセントから抜いて行って下さい。

電源を入れる時は音量を最小にして下さい。突然大きな音が出て聴力障害の原因になる事があります。また、ご使用時は適切は音量でご鑑賞下さい。長時間大音量でお聴きになると聴力障害の原因となります。

※付属の電源コードは本機専用です。他の機器では使用出来ません。

保証について

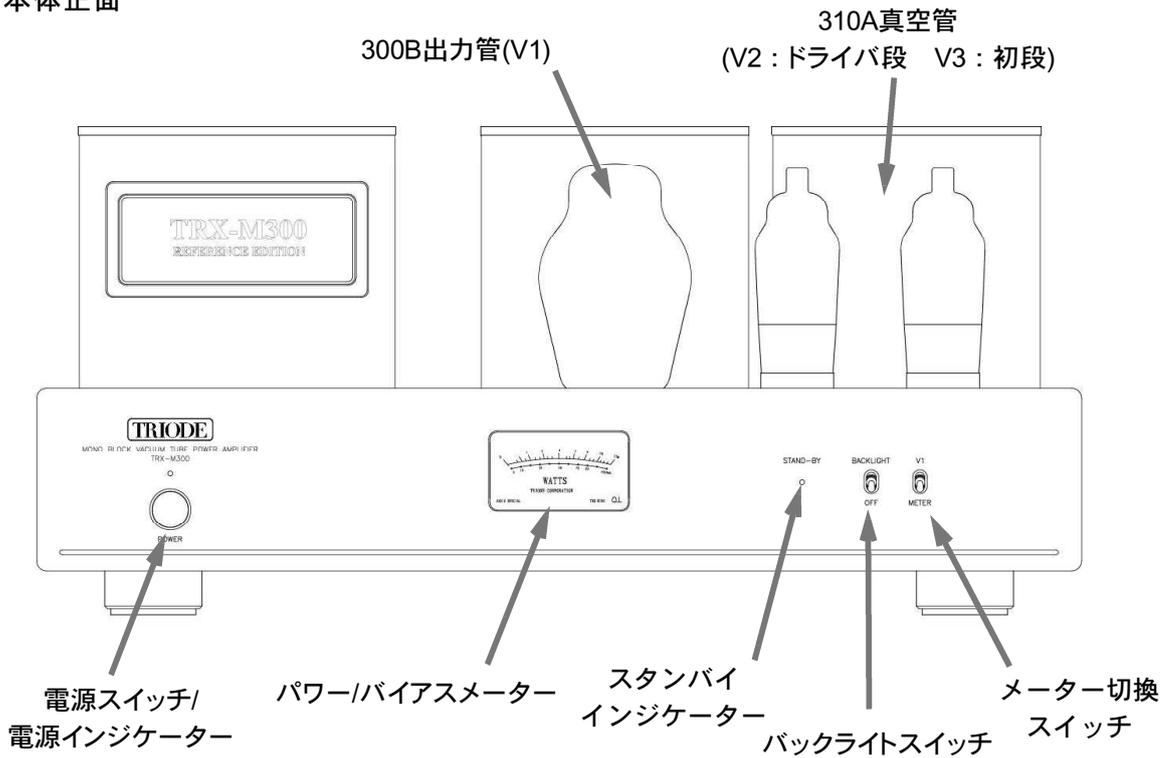
本機は取扱説明書に記載された注意事項等に添った正しい使用状態で保証期間内に故障が生じた場合は、弊社にて無償で修理致します。但し、以下の様な場合、保証の対象外となりますのでご注意下さい。この場合の修理は全て実費とさせていただきます。

- 1) お客様による本製品のパーツ交換を含む改造を行った場合
- 2) 本製品純正品以外の真空管を使用した事によりアンプ本体や他の真空管に故障や損傷が生じた場合、または接続された器機により不具合が生じた場合
- 3) 取扱説明書に記載されていない操作方法やご使用上の誤りによる故障や損傷
- 4) 輸送、移動、落下等による故障や損傷
- 5) 落雷、地震、風水塩害、その他の天変地異や、公害、火災、異常電圧による故障や損傷
- 6) お客様の希望による真空管の交換や調整、その他メンテナンスの時
- 7) 業務用など一般家庭用以外での使用による故障および損傷

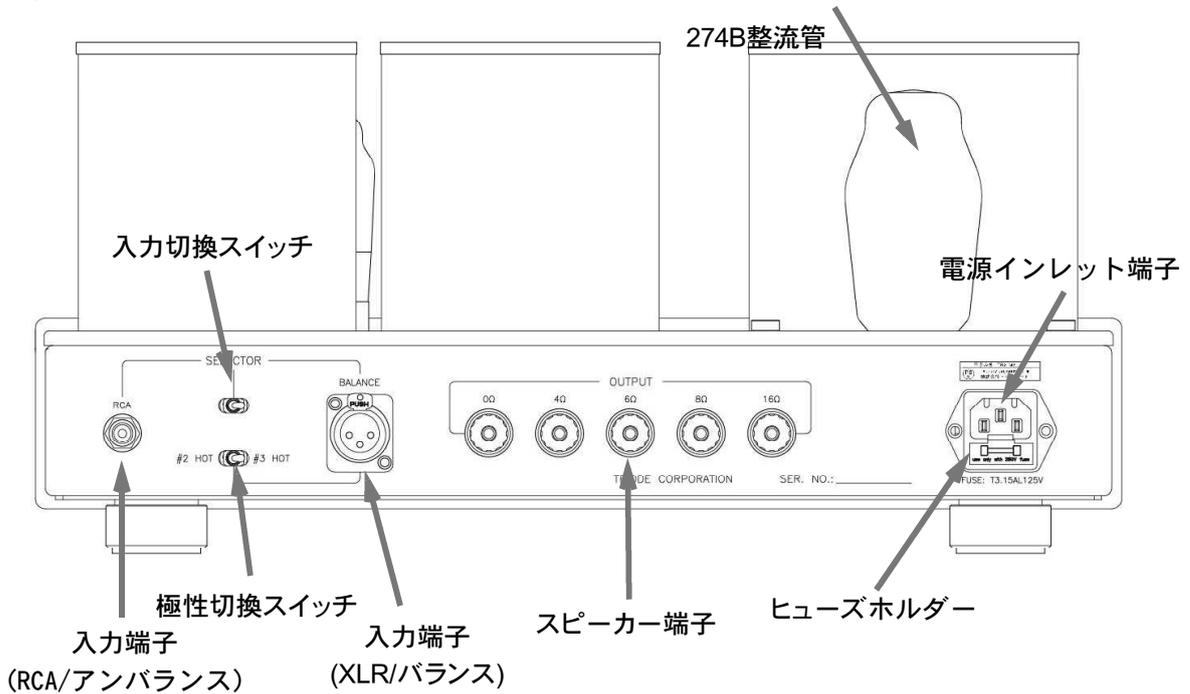
※本機のご使用によって生じた商業上及び資産上その他いかなる損害に対しての賠償責任は負いかねますのでご了承下さい。

各操作部及び接続端子

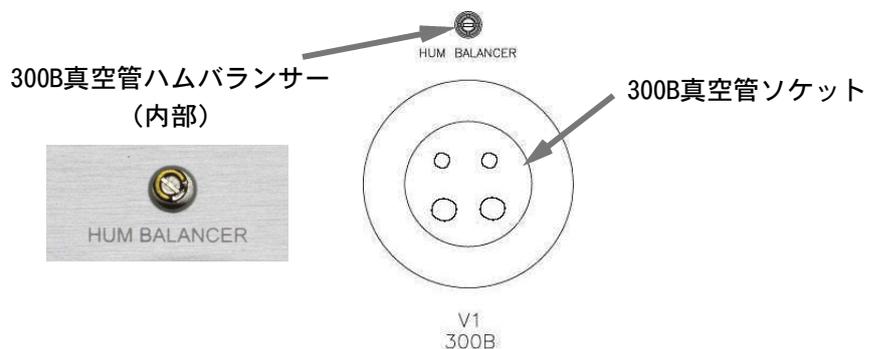
・ 本体正面



・ 本体背面



・ 本体正面(V1:300B部)



接続方法

※はじめに真空管カバーを取り外し、各真空管にかぶせてある、白いクッション材を取り外して下さい。(本紙5ページ目を参照) 取り外した後は真空管カバーを取付け元に戻します。

- ・正面の300Bは端子が4本と少ないため、クッション材を引き抜こうとすると同時に真空管も抜けてしまう事があります。その場合はクッション材を取り外した後、再度挿し直して下さい。300Bの端子は細い足2本と太い足2本で構成されていて、ソケットの穴もそれに対応して大小2個ずつの穴が空いていますので、必ずそれに合わせて挿し込んで下さい。

1) 電源コードの接続

電源スイッチがOFFの状態ですべての電源コードをインレットとコンセントに差し込みます。

2) 入力端子の接続

プリアンプ(コントロールアンプ)の出力端子を本機の入力端子にRCAピンコードまたはXLRケーブルで接続します。その際に入力切換スイッチ(トグルスイッチ)をご使用になる端子側に倒して下さい。XLR/バランス入力をご使用の際は極性切換スイッチを組み合わせる器機に合わせ、「#2 HOT」側または「#3 HOT」側に倒します。

※本機背面のトグルスイッチは誤操作防止機能付きの為、操作時にはつまみを引っ張りながら左右に操作して下さい。

※本機に接続する器機は必ず音量調整機能を搭載した物をご使用下さい。



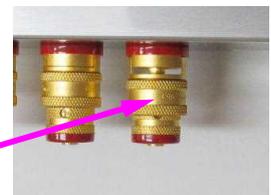
3) スピーカーの接続

スピーカーケーブルをご使用のスピーカーのインピーダンスに合わせて接続します。本機では4/6/8/16Ωにそれぞれ対応した端子を装備しており、幅広いスピーカーに対応いたします。また、端子はバナナプラグ、Yラグ端子、裸線に対応しております。

- ・バナナプラグ使用時
端子先端のナットを緩め、プラグを差し込み、締め付けます。
※動きが固い時は先端のマイナスネジを時計ドライバー等で緩めて下さい。



- ・Yラグ/裸線使用時
端子の根元のナットを緩め、すき間にYラグ端子/裸線を挟んで締め付けます。



※接続に使用する各種ケーブル類は別途ご用意下さい。

※バナナプラグのナットの締め付けすぎにはご注意ください。プラグが変形する可能性があります。

使用方法

- 1) 初めに周辺器機の音量が絞られている事を確認した後、電源を入れ、最後に本機の電源スイッチを押し込んで電源を入れます。電源インジケーターとスタンバイインジケーターが点灯し、約30秒後にスタンバイインジケーターが消灯して、スピーカー出力が可能になります。

※30秒を越えてもスタンバイインジケーターが消灯せず音が出ない場合は直ちに電源をOFFにし、販売店もしくは弊社までご連絡下さい。

- 2) お好みによりバックライトスイッチによりメーターの照明をON/OFFして下さい。

- 3) メーター切換スイッチを「V1」側にすると300B真空管のバイアスをチェックする事が出来ます。70mA~80mA位が適当です。極端に上がったたり下がったりした場合は300B真空管の交換が必要な場合がありますので、販売店又は弊社までご相談下さい。

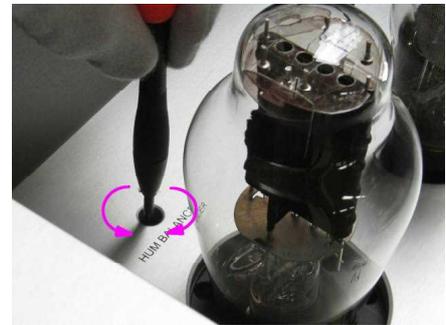
※通常は「METER」側にしておいて下さい。300Bのカソード電流がメーターに常に流れてしまい、音質にも影響します。

- 4) ハムランサーについて

長期間使用していたり、新しく300Bを交換した際に無音声時にハムノイズが目立つ事があります。その時は本体正面の300Bソケット部奥にある「HUM BALANCER」(小さな穴の中のマイナスネジの様な物)を調整する事で小さくすることができます。

- ・真空管カバーを外し、本体の電源を入れて、無入力状態でスピーカーから出力されるハムノイズが一番小さくなる様に先端の細いマイナスドライバーを使い、内部のハムランサーを左右に回転させ、追い込む様に調整します。

※初めに時計回りに回してみて、ハムノイズが大きくなる様であれば反時計回りに回し、ノイズが一番小さくなるまで回します。回し続けて再び大きくなったらまた反対方向に回し、最終的に一番小さくなる所を見つけます。



※調整中は各真空管が発熱して触れるとやけどをすることがあります。軍手など厚手の手袋を着用して誤って真空管に触れない様に十分注意して下さい。

真空管カバーの取扱い

真空管カバーはまっすぐ上方へ引き抜く様にする则取り外せます。

取付の際は4本の足を取付穴に合わせ、まっすぐに押し込みます。

※真空管は動作時高温になります。清掃等で取り外す以外は、カバーを取り付けた状態でご使用下さい。

※真空管の発光部分は各電極を暖めるためのヒーターです。真空管により、光り方にばらつきが生じる事がございますが、出力が正常であれば異常はございません。



ヒューズ交換について

ACインレットより電源コードを抜き、ヒューズホルダー上面にある溝にマイナスインスライバ等をつけて引き出します。ヒューズは250V又は125V タイムラグ型T3.15Aを使用して下さい。



※交換したヒューズが再び切れてしまう場合、本体に異常がある可能性があります。その時は直ちに使用をやめ、コンセントから電源プラグを抜いて修理をご依頼下さい。

TRX-M300 仕様

- 回路形式：自己バイアス方式 真空管A級シングルモノラルアンプ
- 使用真空管：300B直熱三極管×1本 310A電圧増幅5極管×2本 274B直熱整流管×1本
- 定格出力：8w(8Ω) ■入力感度：0.9V/100kΩ
- 周波数特性：10Hz～50kHz -2dB ■SN比：90dB以上 ■歪率：0.1%以下
- 出力端子：スピーカー出力 4、6、8、16Ω
- 消費電力：120W
- 外形寸法：幅420×奥行340×高さ210mm ■重量：22kg
- 付属品：真空管カバー×2、取扱説明書(本書)、電源コード

スペアパーツ

PSVANE社製 WE300B 43,000円
WE274B 30,000円

※価格は2019年3月現在(税別)

※真空管の交換について

本機では出力管回路に自己バイアス方式を用いており、真空管の交換時にはバイアス調整を行う必要がありません。真空管を取り替えて音の違いを味わって頂く事が出来ます。

尚、交換時は電源をOFFにしてから真空管の温度が常温に下がるまで絶対に手を触れないで下さい。動作時は高温になっており、火傷の恐れがございます。

故障や修理についてのお問合せ

TEL：048-940-3852 FAX：048-940-3853

e:mail：service@triode.co.jp

※お電話の場合は祝日を除く月曜日から金曜日の10時から16時の間に対応させていただきます。